

## 経営・勤務環境改善

### 医療従事者確保・定着のための 経営・勤務環境改善研修 (平成 28 年度 2 回目)

「医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修」が、平成 28 年 8 月 31 日（水）メルパルク京都にて開催され、78 名が参加されました。

第 1 部は「骨太の方針と経済財政一体改革の視点から医療改革を考える～今年最大の課題・医療計画と療養病床等見直しも含めて～」をテーマに石井公認会計士事務所の所長である石井孝宜先生にご講演いただきました。



石井孝宜氏

消費税率 10% の引上げが遅れる事による財源確保には、社会保障の多くを占める「医療」と「介護」部分の見直しが行われる事が予測される。第 2 次安倍政権以降、毎年 3 つの閣議決定が出され、今年も 6 月に「骨太の方針」「成長戦略」「規制改革」が発表された。この「骨太の方針 2016」においても、過去 3 年と同様に社会保障制度改革が重要な課題と位置付けられており、経済・財政再生計画における主要な改革項目の 80 項目中、44 項目が社会保障分野の項目であり、更にその 44 項目の内、38 項目が医療・介護改革となっている。その内容は、地域医療構想の策定による病床機能分化・連携の推進、地域包括ケアシステムの構築、データに基づいた地域差の是正などの「医療・介護提供体制の適正化」、医療費適正化に向けた取り組みに対する一層のインセンティブ強化に係る制度設計などの「インセンティブ改革」、マイナンバー制度のインフラ等を活用した取り組み



石井孝宜氏

などの「公的サービスの産業化」、公的保険給付の範囲や内容についての適正化、金融資産等の保有状況を考慮に入れた負担を求める仕組みの検討などの「負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化」、後発医薬品の価格算定ルールの見直しを検討、薬価改定の在り方などの「薬価、調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革」といった 5 つの柱で構成されている。また、平成 28 年 4 月の診療報酬改定後に社会保障審議会は「地域医療構想・次期医療計画」「療養病床の見直し」「医療従事者の需給・偏在」「新たな専門医の仕組み」「ゲノム医療の実用化推進」「医療広告の在り方」「特定機能病院のガバナンス」「医療事故調査制度等の在り方」を医療提供体制の主な課題と明示した。これらの議論を行う検討会・特別部会が設置され、既に会合が開催され始めている。これらの検討会等においては公表資料が確認できるため、それらの情報を基に医療政策の動向を見据えた病院経営・自施設の方向性を見極めが重要であると痛感させられる講演をしていただいた。



相澤孝夫氏

第2部は「勤務環境改善はこのように取り組む」をテーマに社会医療法人財団慈泉会相澤病院の理事長・院長である相澤孝夫先生にご講演いただきました。

病院（医療機関）の特殊性から見た雇用環境は、医師・看護師等の必須職種が存在する複雑な職種構成であり、女性職員が多いといった職種の側面と、特に地方都市では医師・看護師不足といった労働市場的側面が挙げられるため、これらの雇用環境を配慮した医師・看護師に焦点をあてた工夫や戦略が必要となる。相澤病院では、社会的・法的要請への対応として「保育所の整備」「短時間勤務者の対応」「育児のための制度」「介護のための制度」「医師・看護師の負担軽減」を充実する取り組みを行った。多職種協働による負担軽減として、看護師代替職種（生活アシスタント、病棟アシスタント、ER救急救命士、ER看護アシスタント、手術アシスタント、内視鏡センター検査技師、検査説明センター事務職員）の積極的導入と配置を進めており、「医師および看護師の負担軽減検討委員会」による年度計画の立案と処遇改善の検討も行っている。保育所や育児・介護等に関する規定の整備といった「労働環境的側面」、職員の働きやすさ・働きがい、多様化するニーズを活かす勤務形態といった「人事制度」についての知恵と戦略が必要であると締め括られた。看護師などの有資格者の確保が困難な現状を、他のスタッフ配置に置き換え、更に質向上に繋げる事例の紹介であり、たいへん参考となる講演をしていただいた。

長時間の研修でしたが、両先生とも丁寧な説明と、わかりやすい解説で講演いただき、時間の経過が速く感じる、とても充実した研修になりました。

（洛和会丸太町病院経営管理部主席課長・正田 健）